

地(知)の拠点 推進事業ニュース

○学生も、地域・企業等の問題解決に取り組んでいます！

本学学生(文系)3名と富山県立大学(理系)の院生2名による課題解決(文理融合)型インターンシップが(株)インテックで実施され、課題解決に取り組みました。

課題解決(文理融合)型インターンシップとは

ALL富山COC+事業(裏面)の一環として、本学は、富山大学、富山県立大学とともに、昨年からは、新たなインターンシップの試みを始めました。従来のインターンシップは、基本的には夏季休暇中の1週間から10日間、職場実習を経験しますが、この試みはあらかじめ企業から課題を与えられ、長期間にわたってその解決策を取りまとめるものです。本学は、富山県立大学と協働し「文理融合型」インターンシップとして取り組んでいます。文系、理系それぞれをベースにした学生同士が力を合わせて解決策を探求していこうというものです。

■実習内容

*期 間 平成29年8月～12月

*参加者 田所 歩さん、三浦 侑悟さん、塚本 貴映さん 他に富山県立大学院生2名

*課 題 オープンデータを活用して、県・市などの地域課題を解決するITサービスの企画および構築

*内 容 ・社内でシステム構築などの講義と自主活動に対する評価(月1～2回程度)
 ・企画に関する自主活動プロジェクト(各講義間) ・学生同士のミーティング(月1回程度)

日程	講義内容	自主活動内容
8月 月上旬	開発工程	各自企画アイデアを考案
8月 月中旬	サービスの品質	企画アイデアを企画書にまとめる
10月 月上旬	情報セキュリティ	企画書の修正 プロジェクト計画書作成
10月 月下旬	要件定義・基本設計	プロジェクト計画書に沿って作業
11月 月中旬	詳細設計	プロジェクト計画書に沿って作業 報告会準備
12月 月上旬	自主活動について社内で報告会 インターンシップ振り返り	



写真は(株)インテック様より提供

■参加者の声

田所 歩さん (3年生)

大学院生と共に参加し、初めは彼らについていくのに必死でしたが、リーダーシップ性やまとめ方など大変参考になりました。社内発表会では発表者を務め、かなりのプレッシャーでしたが、やりがいがあり貴重な経験になりました。大学内では学べないことも多くあり、それが就活やゼミ活動にも活かされていると感じます。参加して良かったです。

三浦 侑悟さん (3年生)

自分より経験のある社会人・大学院生の中で力を発揮しなければというプレッシャーや緊張もありましたが、インターンシップで普段の学生生活では体験できないことを学び、新鮮でした。社会人と話すことは刺激になるし、成功も失敗も学べる、貴重な経験が出来るので、今後参加を検討している人は、是非チャレンジしたらよいと思います。

塚本 貴映さん (2年生)

ビジネスメールやマナーを実践で経験できたことは貴重だったと思います。実習先では企画する上でのノウハウを学び、実習生も地方活性化につながるような企画を考えました。周りは先輩だけでしたが「何か案はある？」と発言を促してもらい、励みになりました。“学生”としてではなく“社会人”として取り組むことを意識して臨みました。

平成29年度 事業報告書を発行しました

地(知)の拠点事業推進室では、平成29年度もCOC事業の取組みをまとめた「事業報告書」を発行しました。掲載された取組みのうち、いくつかをご紹介します。

■現代社会学部 【道の駅 「ウェーブパークなめりかわ」 及び 道の駅「砺波」の活性化への取組み】

国土交通省北陸整備局富山河川国土事務所の協力要請によって、平成28年度にスタートした事業で、これまでに実施した、道の駅利用客の意識・行動調査の結果から、平成29年度は、活性化に繋がると思える具体的な事業に試験的に着手しました。

「ウェーブパークなめりかわ」では、写真撮影のスポットを設定することによってSNS投稿による賑わいの拡散、道の駅滑川の知名度の向上を狙いとし、「顔出し看板」の作成・設置を行いました。

「道の駅砺波」では、もっと賑わいを創出すると共に、道の駅周辺の回遊性を高めるために、「砺波観光マップ」「年間イベントスケジュール」「道の駅砺波周辺アクセスマップ」の作成・配布を計画しました。

道の駅「ウェーブパークなめりかわ」



写真は北日本新聞より

道の駅「砺波」



■子ども育成学部 【夢への架け橋事業 ～World Friends in Toyama～ の開設】

異なる環境や文化の中で育っても、同じ地球に生きている「友達」としてその輪を広げていくことを目的に、「国際交流ひろば ～World Friends in Toyama～」を開設しました。

この企画は平成29年度、本学の「夢への架け橋助成事業」に採択され、様々な国から来ている留学生の協力のもと、子ども育成学部の2～3年生が中心となって活動し、7月15日(土)・8月25日(金)に定例会を行いました。富山国際学園サテライトオフィス(CiC3階)を会場に、親子(幼児～小学生のお子さんと保護者)と一緒に異文化や英語の体験を楽しんでもらいました。

今後は定例会だけでなく、ハロウィンやクリスマスなど、参加者に楽しんでもらえるイベントを企画しようと考えています。



フランス語、ルーマニア語、英語、中国語で買い物ごっこ



おもちゃのお金で各国のお菓子が買えて大喜び!



4つの国の「グー・チョコキ・パー」を習って、電車ごっこ

写真は本学ホームページより

地(知)の拠点推進事業(COC/COC+)とは

本学は、平成22年以降「大学生の就業力支援事業および支援推進プログラム」および「産業界のニーズに対応した教育改善・充実整備事業」に5年間に渡って連続して選定されました。その延長上で、平成27年度には、富山大学を申請校とする「地(知)の拠点大学における地方創生事業(COC+)」の「ALL富山COC+事業」に参加校として加わりると同時に、「とやま地域創生人材育成プログラム」によって、特に優れた取組として認められた大学等8校の一つとして、平成27年度「地(知)の拠点大学」(COC)の認定を受けました。